

【 2024 年度 聖隷こども園・保育園 施設関係者評価 】

園名 聖隷浜松病院 ひばり保育園

目的：浜松磐田地区の聖隷福祉事業団のこども園・保育園及び関連法人のこども園が、お互いに客観的な視点で施設評価を行うことで、保育の資質向上を目指す。

評価日・評価者

評価日 2024 年 11 月 7 日

評価者 園 名 こうのとり保育園

役 職 園長 氏 名 梶山 美里

評価者 園 名 聖隷こども園こうのとり富丘

役 職 園長 氏 名 二村 郁枝

【保育・教育理念】

聖隷の保育・教育理念が、日常の保育・教育に反映されているか。

- ・愛されて、愛する心を知り、お互いが大切な存在であることを知る。
- ・一人ひとりの違いに気づき、お互いを認め合いながら共に主体的に生活する。
- ・自己発揮できる環境の中で創造性を育てる。
- ・在園、地域の子育て家庭が、心豊かな環境で子育てできるように支援する。

子どもたちへの声のかけ方や接し方から愛情が感じられた。保育の中で、子どもたちと対話しながら計画をしたり、保育を進めたりする場面があり、子どもの声を尊重している様子がうかがえた。子ども一人一人に目を向け、子どもの気持ちに寄り添いながら保育をしている。

【人権尊重】

常に子どもの立場に立って、子どもの成長に最善となるような取り組み（関り・配慮）がなされているか。

子どもたち興味関心や発達に合わせて保育を計画している。また、年齢によっては子どもたちと一緒に遊びを計画し、子どもの声を受け止めながら保育準備を行っている等、子どもの思いを尊重した保育を行っている。

【情報保護】

個人情報の保護は適切であるか。

規程に基づき、適切に行われている。
保護者や子どものプライバシーの保護、知りえた事柄の秘密保持は徹底されている。

【苦情対応】

意見や苦情に対して、適切な対応ができているか。

苦情解決の体制に基づき、適切に行われている。
必要に応じて保護者と面談を行ったり、園内で周知をしたりして対応をしている。

【保健・衛生】

園児の感染症等の情報提供、日常の健康観察や感染症の拡大防止等の取り組みがなされているか。

園長・主任・看護師を中心に、日々の感染対策に取り組んでいる。

【安全】

救急・防犯・避難訓練等を通して、職員・園児の安全対応能力の向上を図るための取り組みがなされているか。

園長・主任を中心に取り組んでいる。毎月の避難訓練と併せて、年2回の不審者訓練や救命救急講習会等、職員の安全対策能力向上のための計画に沿って行われている。

【運営】

施設・設備の環境や管理等、運営は適切になされているか。

修繕関係は事業団の力も借りて、できるだけ速やかに対応するようにしている。
エレベーターの取替工事を行う。

【環境美化】

園内外の清掃、物の整理整頓等、清潔で整然とした環境になっているか。また、季節感等が感じられる工夫がなされているか。

全体的に、整理整頓、清掃ができており、清潔感がある。玄関周辺に飾られている花（植物）も園の雰囲気を明るくしている。

【保育室】

室内の環境が子どもの発達に合わせて工夫され、玩具等適切に配置されているか。

子どもの発達を促すような玩具や今の興味、関心が広がっていくようなコーナーが設置されていた。子ども達も伸び伸びと好きな遊びを楽しんでいた。

【保育内容】

全体的な計画に基づき、「歳児別保育目標」を意識した保育が展開されているか。

0 歳児

- ・ 神さまから預かったいのちとして大切にされる
- ・ 大人の愛情に包まれ、安心して過ごす
- ・ 意思がしっかり受け止められ、安心して自分らしさを出す

1 歳児

- ・ 保育者の祈りや讃美することを通して、神さまに会う
- ・ 歩行と共に行動範囲をひろげ、興味・関心をひろげる
- ・ 神さまや周りの人たちに守られ、愛されていることを感じる
- ・ 全身を使ってあそび、言葉や身振りで自分の思いを表す

2 歳児

- ・ 神さまや周りの人たちに守られ、愛されていることを感じる
- ・ さまざまなことに興味・関心を持ち、保育者や友だちの中であそびを楽しむ。また、生活面の自立ができるようになる。

3 歳児

- ・ 保育者や友だちと一緒に讃美歌を歌うことやお祈りをすることを喜ぶ
- ・ あそびを通してイメージを広げ、社会や自然を理解し、友だちとあそぶことの楽しさやル

ールの大切さを味わう

4 歳児

- ・保育者や友だちと礼拝を守りながら日々を歩む
- ・あそびを通して基本的な自然や物事の特徴を知り、友だちとのかかわりを通して葛藤を乗り越え、集団生活を豊かにする

5 歳児

- ・一人ひとりが神さまから違った良いものをいただいていることを認め合って過ごす
- ・共同的な活動を通して、子どもたちが自分の役割を知り、互いに認め合いながら、主体的に行事やクラスの運営を行う

乳児：担当制保育の中で、子どもたちは安心して生活をしている。思いを受け止めてもらいながら、落ち着いて生活をしている。

幼児：主体性を大切にするために時間帯に幅を持たせ、コーナー保育を取り入れている。サークルタイムを大切にし、子ども達が考え、選択し、食事は食べるタイミングを自分で考えて行なっている。

【全体を通して】

全体的に落ち着いていて、穏やかな雰囲気を感じました。園長、主任 2 名が園全体のことを把握した上でそれぞれの役割を果たし、同時期に楽しく保育をしてきた 3 人だからこそその保育観が活かされていました。面接では皆さんしっかりと自分の保育を語って下さいました。職員間の意思疎通、認め合いが出来ていくと、よりチームとして保育が深まっていくと感じました。改めて共に語り、課題に向きあう事の大切さを感じました。ありがとうございました。